

## 令和3年 第2回定例会

以下の3項目について、一般質問しましたので、主な内容を報告します。

### 1) 新型コロナワクチン接種について

コールセンターでは、一時期、電話が繋がらない状況となっていました。本市では、6月22日からライン予約が開始され、一定の効果が認められます。また、現在、新型コロナワクチンの職域接種が全国的に展開されようとしていますが、職域接種は、接種券が無くても接種出来る仕組みであり、管理面での課題が残ると考えます。本市では、6月末頃までに接種券を送付し、対応するとのことですが、混乱を招かぬよう、また、今後を見据え、中小企業などとも上手く連携し、推進頂くことを要望しました。

ワクチン接種に関しては、個別接種を如何にしてスムーズに進めるかも課題であり、市民の方々が不安なく、適切に予約・接種できるように、工夫する必要があります。

市民の方々が焦らぬよう、個別接種も踏まえた今後の見通しや、スケジュールなどを出来るだけ分かりやすく公表することも一つの手段と考えます。引き続き、鋭意、取り組むよう、要望しました。



### 2) 交通ネットワークの構築について

高齢者の足の確保は喫緊の課題であり、早急な対策が必要と認識しています。一方、まちづくりの観点から、移動手段の確保は年齢問わず、全ての市民が快適に利用できる交通環境の整備が必要と考えます。

先日、市内の路線バスが減便されました。輸送人員が減少しているとはいえ、路線バスは、依然として公共交通の中核を担っていると考えます。これからは、まちづくりの一環として、地域公共交通のあるべき姿を自治体が明確に示すと共に、自治体とバス事業者が緊密に連携して、地域の足を守っていく取り組みが重要になると考えます。

魅力あるまちづくりと、市域全体の利便性向上を中長期的な観点から考えた場合、人が集まる商業施設や病院などの拠点間に加え、地域拠点と居住エリアを結ぶといったネットワーク機能の強化が重要と考えます。市民の外出機会を創出すると共に、地域拠点への移動をスムーズにすることで、地域活力を向上させることが必要です。

近年、移動手段を確保する為、市街地へもデマンド型交通を導入する自治体が急増しています。本市は狭隘道路が多いことから、実態に即したデマンド型交通の導入が、市民の移動手段の確保に有効と考えます。検討するよう、要望しました。

交通ネットワークの構築は、来訪者の移動の利便性や回遊性も高め、交流を活発化させ、本市の魅力向上にも貢献するものと考えますので、鋭意、取り組まれることを要望しました。



### 3) 鳥飼地域のまちづくりについて

鳥飼地域のまちづくりは、安全安心を土台として「防災」をベースに取り組むとのことで、この度、「高台まちづくり」というキーワードが初めて出て参りました。仮に高台が各所に整備され、安威川や淀川氾濫時に緊急避難が出来たととしても、その場所に、ずっと留まれる訳ではなく、浸水しないエリアを設け、二次避難に移るといった視点でまちづくりを推進すべきと考えます。

また、「高台まちづくり」は、災害時のみならず、平時においても、地域の賑わい空間としての機能を発揮しなければなりません。魅力ある鳥飼まちづくりを実現させる為には、地域住民はもとより、民間企業やNPOなどと連携し、様々な意見や発想を抽出・反映させる必要があると考えます。しかしながら、現在予定されている策定委員会だけでは、それらを反映しきれず、議論も深掘りすることが出来ません。策定委員会に掛ける前段階で、如何にして意見や発想を盛り込めるかが重要であると考えます。

グランドデザイン策定にあたっては、学校施設などの教育や、福祉に係る課題など、多岐に渡る検討が必要であり、複数の課題を同時並行的に解決する構想が必要です。抽出された意見や課題を庁内全体で共有・連携し、練り上げる必要があると考えます。安全・安心のまちづくりと、にぎわいづくりを一体的に進めるには、鳥飼地域全体を俯瞰的に見つめ、地域の特色を活かしながら、様々な取り組みを連動させる必要があります。

例えば、鳥飼東部において、以前に提題した道の駅を、高台まちづくりの観点から、「防災型道の駅」にする発想もあるかと考えます。令和8年度に無料化される鳥飼仁和寺大橋からのアクセスも考慮し、有事は避難場所として、平時は、地域資源を活かした「にぎわいづくりの場」として、デマンド型交通の乗降場を設けることも有効な手段です。

これまで、魅力ある鳥飼まちづくりの具現化に向け、夢を語り、長期的な視点に立ってあるべき姿を描く必要があると提言して参りました。是非、夢の実現を目指し、全庁一丸となって、持続可能なまちづくりに取り組むよう、要望しました。



### 光好博幸後援会とは

「光好博幸」の政治活動を支援し、会員相互の親睦を図るとともに、「市民参加による魅力あるまちづくり」を積極的に進めることを目的としております。

なお、この会は、特に会費を徴収せず、寄付金や賛助金を持って、運営いたします。皆様の政治に対する想いをお聞かせ下さい。

日常お困りの市民相談、  
後援会への入会希望の方は  
お気軽にお電話ください。



連絡所 072-650-2833  
自宅 072-665-5608

公式HP  
はこちら

